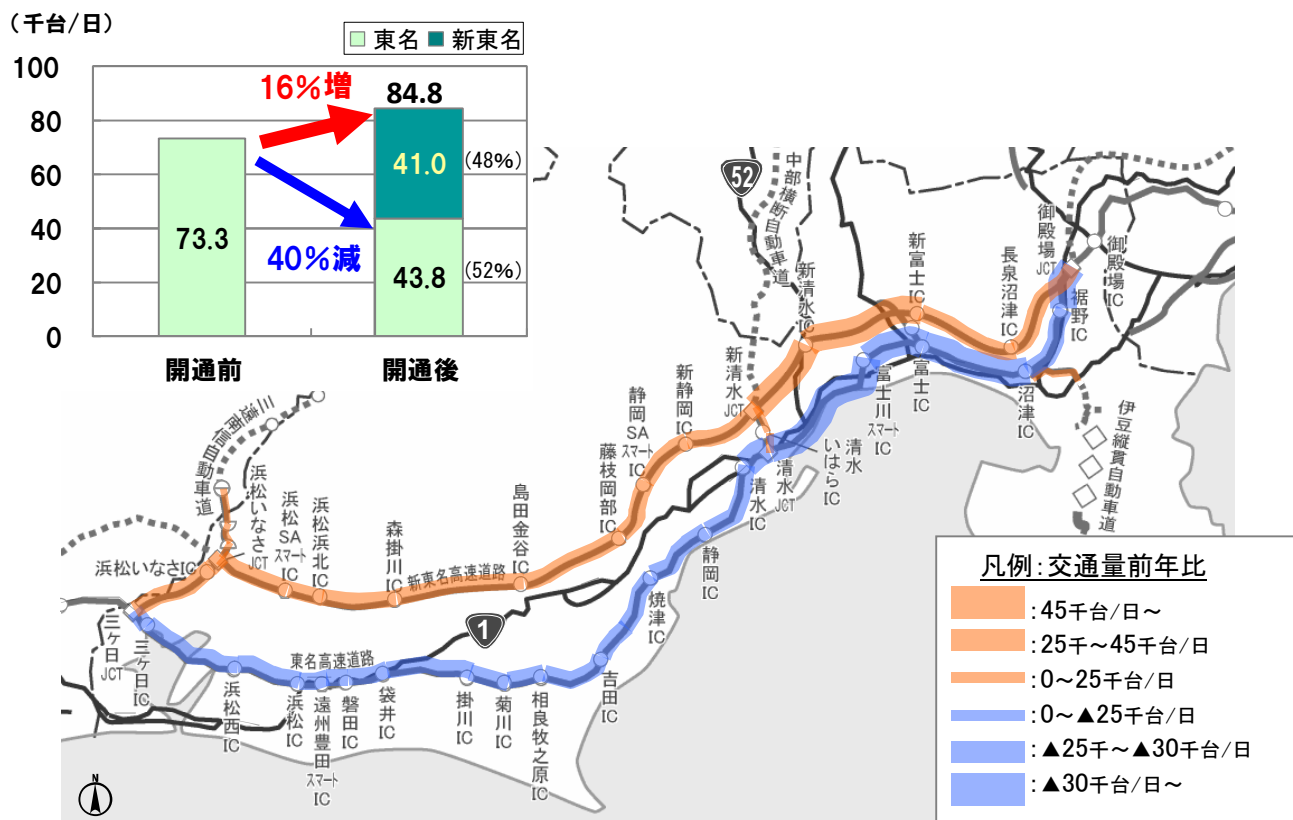


1. 新東名開通後6ヶ月間の平均交通量の変化

- ・ 新東名の開通後6ヶ月間の平均交通量は、全日41千台/日、平日38千台/日、休日47千台/日でした。
- ・ 静岡県内の新東名と東名の交通量の合計は、全日16%、平日15%、休日17%とそれぞれ増加しました。

■平均交通量（全日）



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 （御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計）
 開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

TOPICS 新東名と東名の区間交通量TOP3

新東名と東名の区間交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“区間交通量”TOP3

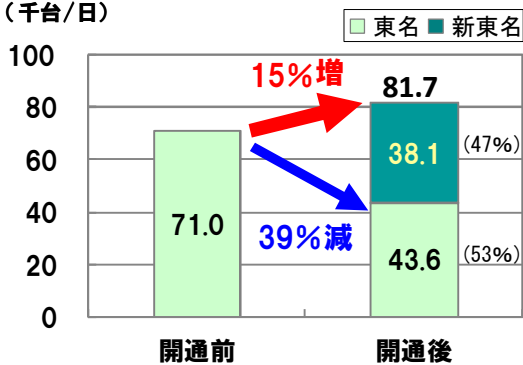
順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	新清水IC～新清水JCT	46.4
2位	新富士IC～新清水IC	45.9
3位	長泉沼津IC～新富士IC	44.8

◆東名“区間交通量”減少量TOP3

順位	区間名	交通量 (千台/日)
1位	清水JCT～清水IC	▲36.2 (71.3→35.1)
2位	沼津IC～富士IC	▲33.0 (74.1→41.1)
3位	富士川SA～清水JCT	▲32.3 (71.3→39.0)

平均交通量（平日）

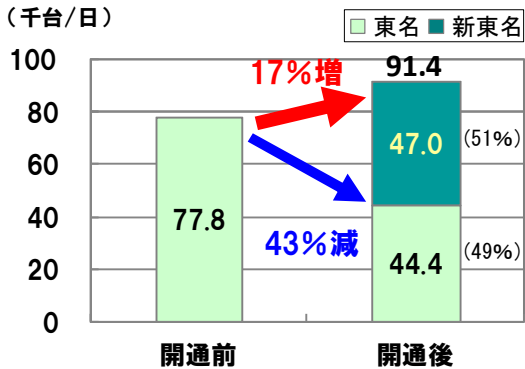
（千台/日）



出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 （御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計）
 開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）の平日
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）の平日

平均交通量（休日）

（千台/日）

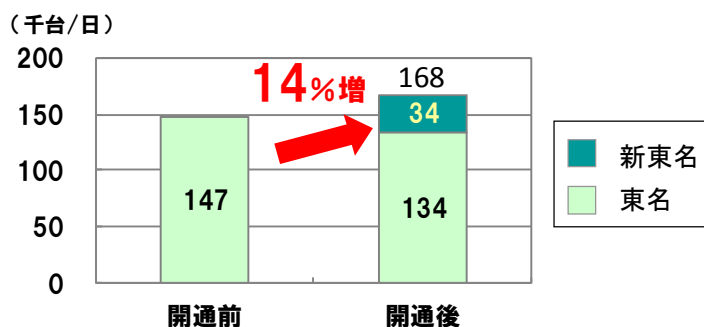


出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 （御殿場JCT～三ヶ日JCT間の交通量を集計）
 開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）の休日（土曜・日曜・祝日）
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）の休日（土曜・日曜・祝日）

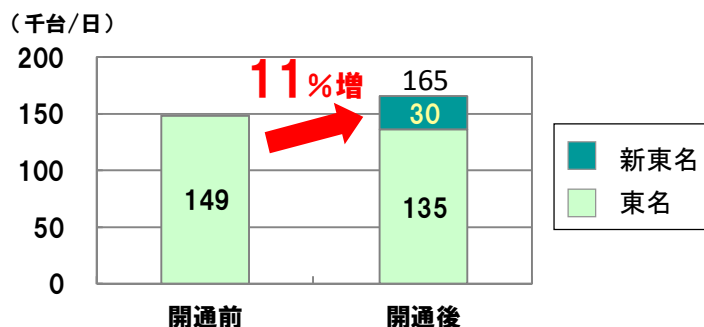
2. 新東名開通後6ヶ月間の平均IC利用交通量の変化

- ・新東名の開通後6ヶ月間の平均IC（インターチェンジ）利用交通量は、全日34千台/日、平日30千台/日、休日42千台/日でした。
- ・静岡県内の新東名と東名の平均IC利用交通量は、全日14%、平日11%、休日19%とそれぞれ増加しており、行動圏の拡大や来県者の増加が想定されます。

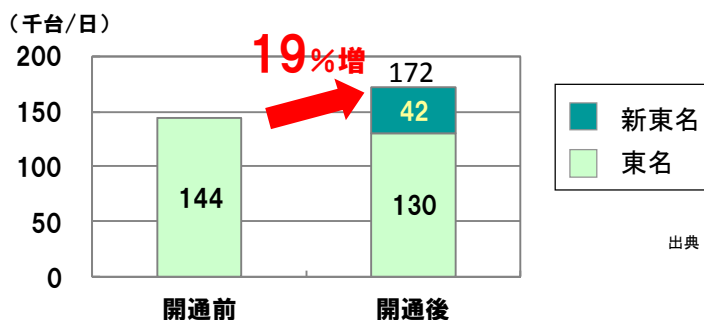
■平均IC利用交通量（全日）



■平均IC利用交通量（平日）



■平均IC利用交通量（休日）



出典：NEXCO中日本 交通量計測データ
 （料金所を通過した台数の日あたり平均値（1回の利用につき1台カウント））
 開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

TOPICS 新東名と東名のIC利用交通量TOP3

新東名と東名のIC利用交通量に関するTOP3を紹介します。

◆新東名“IC利用交通量”TOP3

順位	IC名	利用交通量 (千台/日)
1位	新富士IC	7.0
2位	長泉沼津IC	5.8
3位	新静岡IC	4.0

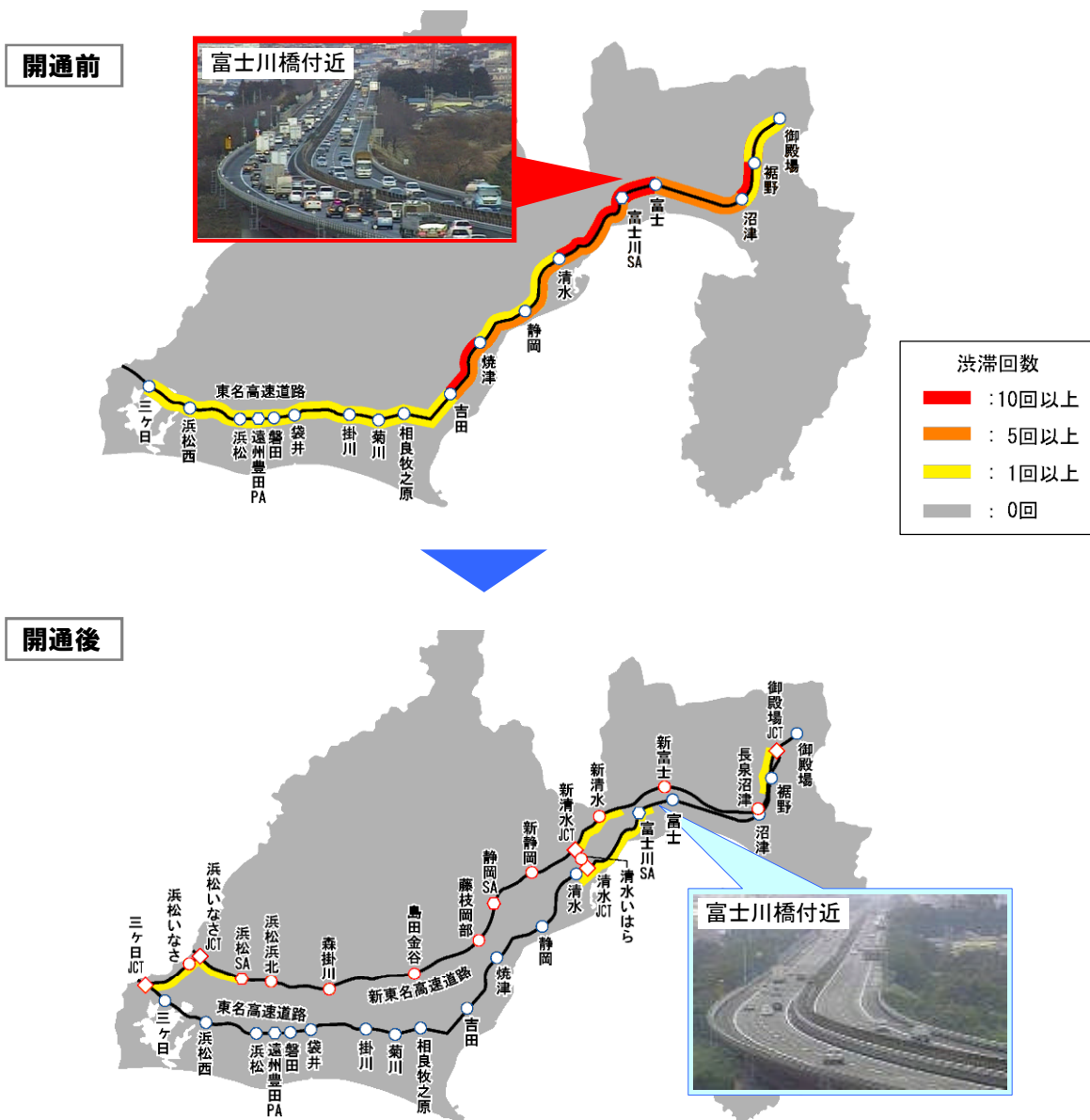
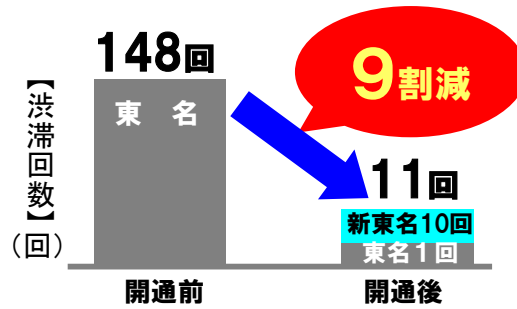
◆東名“IC利用交通量”減少量TOP3

順位	IC名	利用交通量 (千台/日)
1位	富士IC	▲4.3 (13.1→8.8)
2位	沼津IC	▲3.0 (17.1→14.1)
3位	焼津IC	▲1.4 (9.2→7.8)

3. 新東名開通後6ヶ月間の渋滞状況の変化

- ・ 開通後6ヶ月間に静岡県内で発生した10km以上の渋滞は11回でした。
- ・ 昨年同時期に東名の静岡県内で発生していた渋滞回数と比較すると、約9割減少しました。

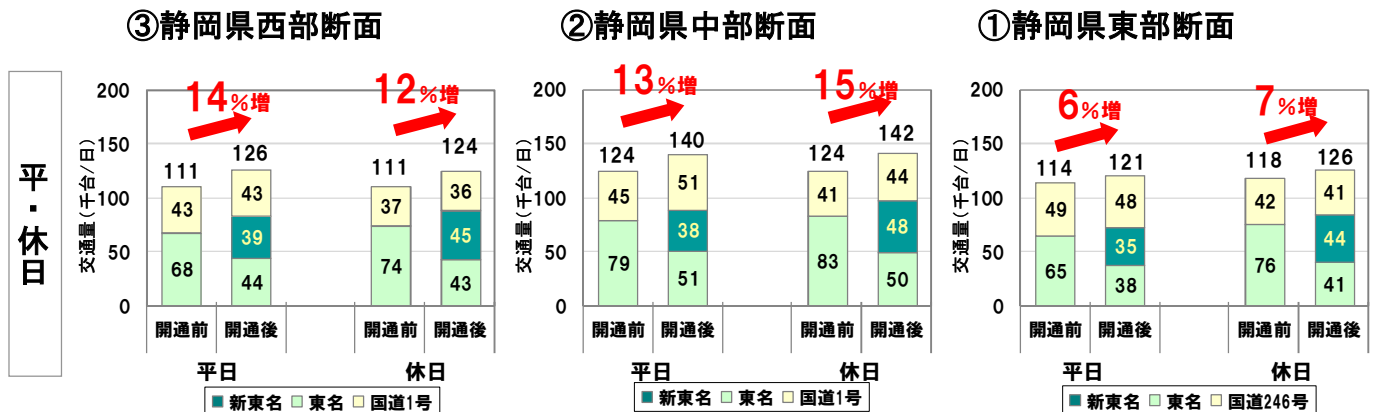
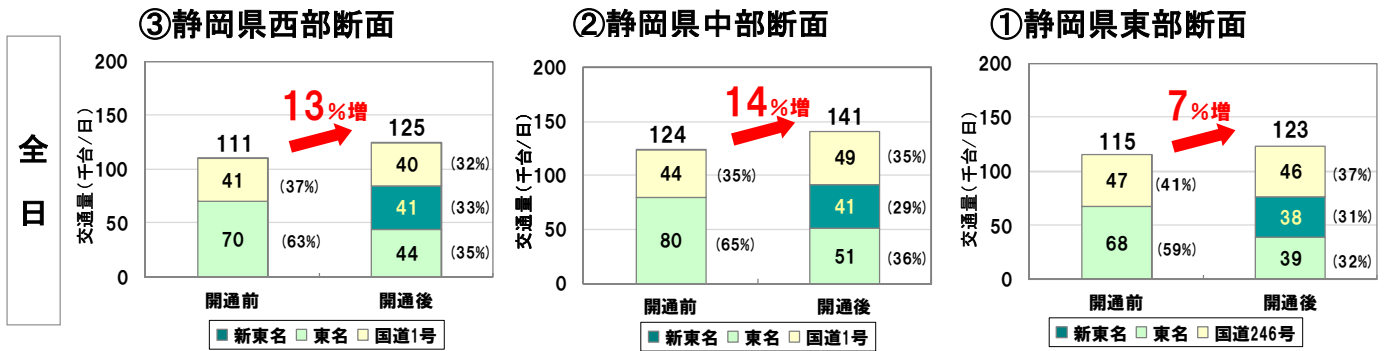
■渋滞状況の変化



出典：NEXCO中日本データ
 交通集中に伴う10km以上の渋滞回数
 開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）
 開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）

4. 静岡県内の主要断面における断面交通量（新東名・東名・国道）の変化

- 静岡県内の主要断面における新東名、東名、国道の断面交通量は、全日最大14%、平日最大14%、休日最大15%とそれぞれ増加しました。
- 並行する国道は、新東名の開通に合わせ4車線化した国道1号静岡バイパスの静岡県中部断面において増加傾向がみられますが、全体的に大きな変化はみられませんでした。

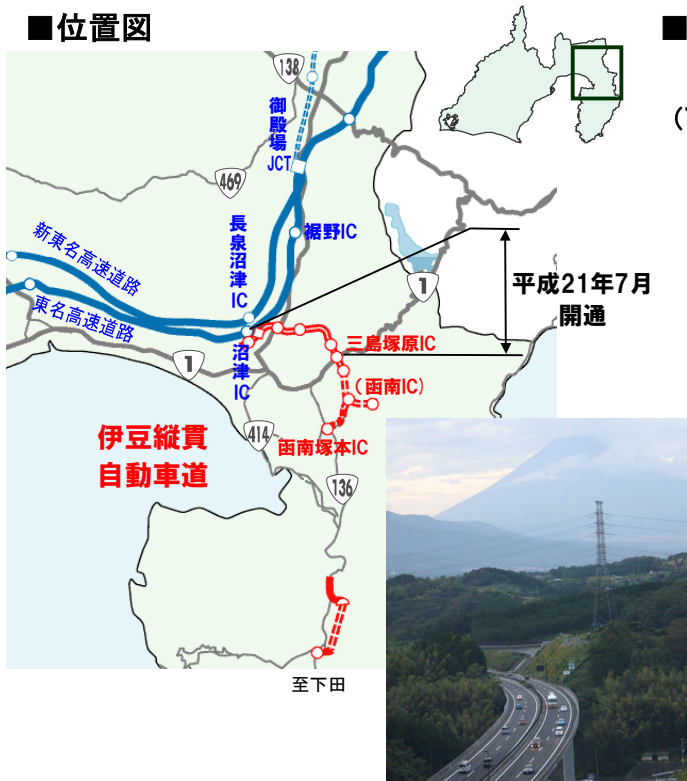


出典：NEXCO中日本、国土交通省 交通量計測データ
 平日開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）の平日
 平日開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）の平日
 休日開通前：平成23年4月17日（日）～10月16日（日）の休日（土曜・日曜・祝日）
 休日開通後：平成24年4月15日（日）～10月14日（日）の休日（土曜・日曜・祝日）

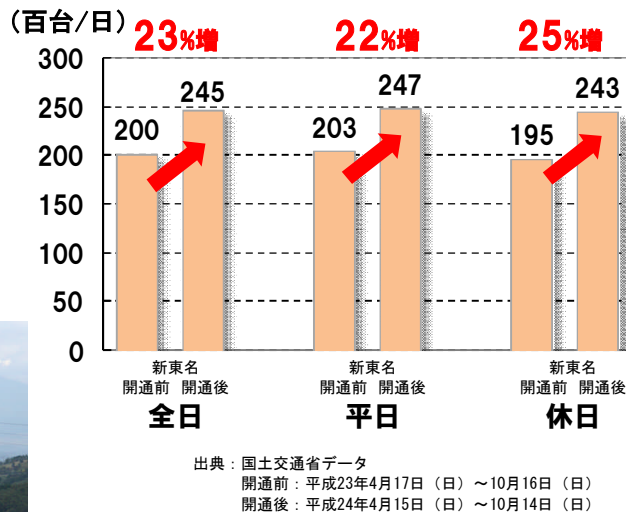
5. 新東名に接続する伊豆縦貫自動車道の変化

- 新東名に接続する伊豆縦貫自動車道において、新東名開通後6ヶ月間の交通量は、全日245百台/日、平日247百台/日、休日243百台/日であり、全日23%、平日22%、休日25%とそれぞれ増加しました。

■位置図



■伊豆縦貫自動車道の交通量



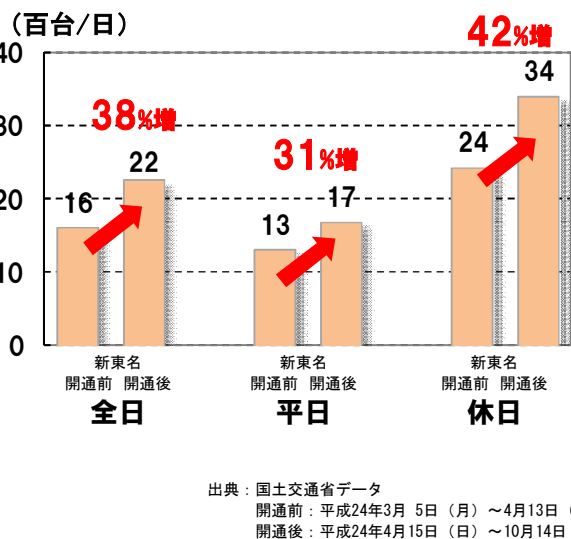
6. 新東名に接続する三遠南信自動車道の変化

- 新東名に接続する三遠南信自動車道において、新東名開通後6ヶ月間の交通量は、全日22百台/日、平日17百台/日、休日34百台/日であり、全日38%、平日31%、休日42%とそれぞれ増加しました。

■位置図



■三遠南信自動車道の交通量



7. 新東名の商業施設(ネオパーサ)の利用状況

- ・ 新東名の商業施設であるネオパーサ（7箇所）の6ヶ月間の来場者数は、約2,400万人でした。
- ・ 休日に行ったアンケート調査では、移動の目的は、観光が多く、次いで買物、帰省となっており、サービスエリアを目的とするご利用も見られました。観光の途中で立ち寄られたお客様からは、「快適なサービスエリアでリフレッシュすることで安全運転につながる」との声もありました。

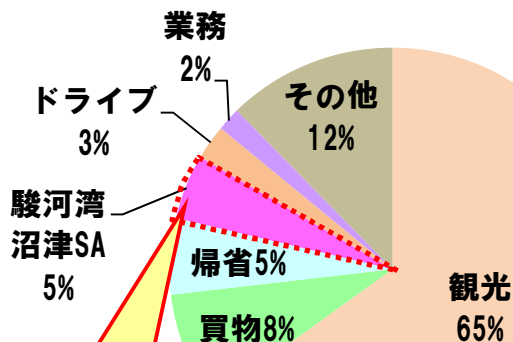
■高速道路商業施設の利用状況



出典：NEXCO中日本
来場者数は平成24年4月14日～10月14日までの、各NEOPASA出入口での観測結果

■駿河湾沼津SA利用者アンケート結果

移動の目的は？



サービスエリアを目的とする利用も見られます。

回答者数N=235

出典：国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所
駿河湾沼津SA（上り）利用者アンケート（平成24年9月15日（土））

サービスエリアの快適さがホッと安心につながっているように感じます。家族で旅行して帰りに寄ると一息つけて「さあ！もう一頑張り」と安全運転につながるようにも思えて助かります。

サービスエリアを目的にドライブで来ました。ここだけの限定グッズなども売っていてとても楽しかった。

出典：NEXCO中日本お客さまの声